

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八ヶ岳スケートセンター	所管課	スポーツ健康課
所在地	北杜市小淵沢町上の原3989-1	設置年月日 (改築年月日等)	平成6年12月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳スケートセンター設置及び管理条例		
設置目的	スケートの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	管理事務所(528.83㎡)、倉庫兼休憩所(270.00㎡) 屋外スケートリンク(1周400m、幅13m)		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	小瀬スポーツ公園アイスアリーナ(屋内60m×30m):フィギュア、ホッケー、ショートトラック、カーリングに利用される。営業7月1日～3月31日 富士急ハイランドコニファーフォレストセイコオーバル(屋外400mトラック):スピードスケートの公式大会にも利用される。営業12月1日～2月28日(民間施設) 長野県茅野市国際スケートセンター(屋外400mトラック):八ヶ岳スケートセンターから約25kmの場所に位置している。
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	一般	4,127	5,219	5,175	
	高校生	411	617	508	
	中学生以下	9,359	10,086	9,347	
	利用者数合計	13,897	15,922	15,030	
	目標値	14,000	14,510	15,625	16,840
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度と同様の目標値を設定する。	施設存続条件として設定されているH25年度の目標利用者数とする。	施設存続条件として設定されているH26年度の目標利用者数とする。	施設存続条件として設定されているH27年度の目標利用者数とする。
	対24年度比	100.0%	114.6%	108.2%	121.2%
稼働率					

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	6,112,170	5,626,000	5,887,980	5,626,000
	指定管理者委託料	49,868,000	50,558,000	50,558,000	51,414,000
	その他	0	142,000	177,772	142,000
	収入合計(A)	55,980,170	56,326,000	56,623,752	57,182,000
支 出	人件費	7,786,882	8,461,000	7,450,605	9,249,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	47,463,199	47,865,000	47,618,791	47,933,000
	うち外部委託費(B)	25,370,100	26,386,000	26,061,620	26,386,000
	支出合計(C)	55,250,081	56,326,000	55,069,396	57,182,000
収支差額(A-C)		730,089	0	1,554,356	0
外部委託比率(B÷C)		45.9%	46.8%	47.3%	46.1%
利用者一人当たりの経費		3,132.0	3,235.7	3,363.8	3,053.1

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成26年12月～平成27年1月 実施方法：一般利用者、競技利用者へのアンケート 回答数：205人
-------	--

単位：%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満足
施設・設備管理	48.0%	42.0%	9.0%	1.0%
利用規程	74.0%	20.0%	5.0%	1.0%
職員の対応	70.0%	24.0%	4.0%	2.0%
売店	36.0%	41.0%	17.0%	6.0%

調査項目	満足	やや満足	やや不満	不満足
施設全般の満足度	61.0%	29.0%	8.0%	2.0%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・洋式トイレを増やしてほしい。 ・受付してからの流れの説明があると良い。 ・施設の方々がとても親切で、テキパキと対応していた。 ・初めての利用者には、窓口で詳しく利用案内をしてほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の要望については、指定管理者として積極的に取り組み、可能な限り対応したが、経費のかかる施設の整備・修繕については、今後、県との協議を十分行ったうえで対応を検討する。 ・貸し靴受付への案内板やスケート靴のひもの縛り方の説明書きを主要箇所に表示を行い、利用者の便宜を図った。 ・製氷管理委託業者とともに、利用者が満足感を得られるよう常に接客に留意したが、不満を感じた利用者も少数あった。指摘されたことを改善し、今後、真心のこもった接客に努める。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設、設備及び備品は正常に保持し、適正な利用に供するよう日常的な保守点検、修繕等を行った。また、良好な環境衛生、美観の維持に心がけ、快適な空間を保つため、開場前・閉場後に清掃を行うなど環境美化に努めた。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き、利用環境の維持や安全確保に努め、適正に業務を行うこと。
運營業務	施設の利用案内、各種団体の調整、広報宣伝活動を行い、利用促進に努めた。また、危機管理として災害時対応の確認や訓練研修を実施し、事故防止に努めた。	施設運営については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 今後も利用促進につながるよう業務計画書どおり適正に業務を行うこと。
自主事業	貸靴コーナーを設置し手軽に施設を利用できるようにするとともに、設置場所を工夫し混雑緩和を図った。 年末年始を中心に、臨時売店による軽食販売を行い利用者サービスの向上に努めた。年末年始だけでなく、土日においても販売が行えるよう業者との調整を行う。	自主事業について概ね業務計画書どおりに業務が行われている。 売店については、利用者の要望に応えられるよう、シーズンを通した営業を計画すること。
利用状況	広報など積極的に行い利用促進を図ったが、目標人数を下回った。 降雨、降雪の日が前年度に比べ約3倍であり、さらに土日祝祭日に限っては4倍であったことが目標を下回った要因と考える。	平日の利用者数も確保できるよう、引き続き積極的なPR活動と関係団体との連携に努めること。
収支状況	設備の老朽化等に対応するため修繕費、消耗品費が増加した。今後も、燃料費、光熱水費などの経費削減に努める。	燃料費の削減分を施設の修繕に充て、利用者の安全確保や利用促進が図られている点は評価できる。今後も経費削減に努めること。
利用者満足度	職員全員がおもてなしの心を持ち、サービスの向上を図り、利用者のニーズに迅速に対応するよう努めた。要望や指摘については今後改善を図り、さらに利用者の満足度が向上するよう努める。	初めて施設を利用する人にきめ細かな利用案内ができるよう、特に混雑時の対応の向上に努めること。利用者のニーズを的確に把握すること。
運営目標の達成状況	利用者数目標の15,625人に対し、実績15,030人は目標達成率96.2%であり、目標人数に及ばなかった。前年度に比べ営業日数が3日少なかったことに加え、悪天候の日が前年度の8日に対して、今年度は24日と3倍であったことが要因と考えられる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	維持管理、運營業務について、事業計画書に基づき適正に業務が行われている。 また、経費削減分により必要な修繕を実施するなど、良好な利用環境の維持が図られている。 利用者数については、目標に満たなかった。今後も関係団体と連携したイベントの開催と合わせたPR活動を行い、平日の利用促進を図るなど利用者数増加に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	施設的环境美化や維持管理を徹底し、お客様に気持ちよく、また、安全に利用していただけるように努める。 徹底して無駄を省き、経費の削減に努める。 利用者の意見、要望を把握し、可能な限り敏速に業務へ反映させ、サービスの向上に努める。 各関係団体と連携して施設PR活動をより積極的に行い、利用者数の増加に努める。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在

